

欧州特許庁、モルドバ知的財産庁と欧州特許の認証について合意

2013年10月24日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）及びモルドバ知的財産庁（AGEPI）は、10月16日、EPOのバティステリ長官と、AGEPIのボロカン長官が、欧州特許のモルドバにおける認証（validation）に関する合意文書に署名を行った旨、それぞれ10月21日及び同22日にプレスリリースを行った。

これらのプレスリリースによれば、モルドバは欧州特許条約の締約国ではないものの、本合意によって、出願人は自身の欧州特許出願及び欧州特許を同国で認証することができるようになる。そして、認証された欧州特許出願及び欧州特許は、モルドバの国内特許と同様の法的効果を有することとなり、モルドバの国内法に従うこととなる。ただし、その実現のために、モルドバは、今後、本合意を承認し、これを実施するための立法措置を執る必要がある。

モルドバは、2012年4月にユーラシア特許条約を脱退する一方で、EUの支援によって2010年11月から2012年4月にかけて実施された、知的財産権の実施とエンフォースのための「TWINNING」プロジェクト等を通じて、欧州型の知財制度を積極的に取り入れるなど、欧州との距離を縮めてきた。

欧州特許のモルドバにおける認証に関し、ボロカン AGEPI 長官が以下のとおりコメントしている旨、各プレスリリースは報じている。「モルドバの欧州の統合への強い献身を踏まえ、モルドバ政府にとって EPO との協力は優先事項である。欧州特許のモルドバでの認証によって、モルドバ社会は特許の質の向上、イノベーション・技術移転の活性化及び望ましい投資環境の創造から利益を受けることになるであろう。」

EPO は、モロッコとも、2010年に欧州特許の同国における認証に関する合意文書に署名するなど、緊密な協力関係を構築している。また、チュニジアに対しても欧州特許の認証に向けた交渉を行っていることを公表している。

— EPO のプレスリリースは、以下参照 —

[Simplifying access to patent protection in Moldova](#)

— AGEPI のプレスリリースは、以下参照 —

[Simplifying access to patent protection in the Republic of Moldova. AGEPI signed a Validation Agreement with EPO](#)

— EPO とモルドバの欧州特許の認証に向けた交渉開始及びモルドバのユーラシア特許条約からの脱退については、欧州知的財産ニュースを参照 —

[欧州特許庁，モルドバと欧州特許の認証へ向けて交渉開始（2011年2月3日）（PDF）](#)
[モルドバ知的財産庁，ユーラシア特許庁と条約脱退後の特許権の取扱いについて合意（2012年4月13日）（PDF）](#)

－ 「TWINNING」プロジェクトの概要は，以下参照 －

[TWINNING Project "Support to Implementation and Enforcement of Intellectual Property Rights in the Republic of Moldova" \(PDF\)](#)

－ EPO・モロッコ間の協力については，欧州知的財産ニュースを参照 －

[欧州特許庁，モロッコと特許に関する協力の強化に合意（2013年6月21日）（PDF）](#)

－ 欧州特許のモロッコにおける認証については，欧州知的財産ニュースを参照 －

[欧州特許庁，モロッコと欧州特許の認証について合意（2010年12月23日）（PDF）](#)

－ 欧州特許のチュニジアにおける認証については，欧州知的財産ニュースを参照 －

[欧州特許庁，チュニジアと欧州特許の認証へ向けた関係強化に合意（2011年5月13日）](#)

(以上)